



学校だより

しいば川

嬉野市立轟小学校 教育目標

「夢を持ち、ふるさとを愛し、生き生きと学ぶ轟っ子の育成」

第2号 2025(R7).6.9 文責:校長 北村 英



学校教育目標について～目指す学校のスローガン

2025年度がスタートして、早くも2ヶ月が経ちました。全てが順風満帆とまでは言えませんが、日々起きるさまざまな問題にも、子どもたちと職員がともに対話を重ね、1つ1つていねいに対応していることもあり、大きな問題には発展しておらず、落ち着いた学校生活ができています。これも、保護者の皆さまのご理解とご協力のおかげです。

さて、4月7日の赴任式で子どもたちに、25日のPTA総会では保護者に向けて、校長からお話をさせていただきましたが、学校教育目標はこれまでのものを踏襲しつつ、本年度、「目指す学校のスローガン」を設定させていただきました。

みんながつくる みんなの学校

ここで言う「みんな」とは、「子ども」「教職員（学校）」「保護者（家庭）」「地域の方々（地域）」で、このスローガンには、より良い轟小学校にするために、それぞれの立場でできることを考え、実行していきましょう！という思いを込めています。

例えば、子どもたち。毎日自分が過ごすクラスで、係活動としてみんなが楽しめるようなことを計画して、提案をし、みんなの同意を得て実行する。また、1年生を迎える会や運動会などの学校行事をつくる。学校行事のために、会場準備を行うことも大切な「つくる」です。いじめのないクラスにするために、自分たちにできることを考えることも重要なことです。教職員が、そして、保護者が、それぞれの立場でできることを考えていきたいと思っています。



ぜひ、常にこのスローガンを意識して、自分の身の回りを見て欲しいと思っています。もちろん、低学年児童には難しいことだと思いますが、毎日楽しく過ごせるようにするのは親や先生ではなく、自分自身であるという認識をもつことで、自分にできることを考えていけるとと思っています。

少しずついいです。みんなでアイデアを出しながら、取り組んでいきましょう！

学校ブログでの情報発信について

新年度に入り、学校ホームページを徐々にリニューアルしております。その中で、学校からの情報発信を前任の白濱校長先生がつくっていただいていた「学校ブログ」で行っています。

学校だよりは、紙面や掲載する写真も限定される、タイムリーな情報発信が難しいなどのデメリットもあるためです。児童の顔写真や名前などの個人情報保護についても、パスワードをかけ、本校の保護者のみが閲覧可能とすることで、不特定多数の方には「非公開」となります。パスワードについては、不定期とはなりますが、適宜変更していきます。

随時、教育活動などの情報をアップしておりますので、ぜひ定期的にご覧いただければ幸いです。

★現在のパスワードは、保護者のみに公開。

★パスワードについては、本校関係者以外の方に公開することが絶対無いようにお願いします。

轟小学校ホームページ

<https://www.education.saga.jp/hp/todoroki-e/>

NEW学校ブログ

[https://www.education.saga.jp/hp/todoroki-e/?](https://www.education.saga.jp/hp/todoroki-e/?content=%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e3%83%96%e3%83%ad%e3%82%b0)

[content=%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e3%83%96%e3%83%ad%e3%82%b0](https://www.education.saga.jp/hp/todoroki-e/?content=%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e3%83%96%e3%83%ad%e3%82%b0)



※記事名をクリック・タップすると、「このコンテンツはパスワードで保護されています。閲覧するには

以下にパスワードを入力してください。」と表示されますので、パスワードを入力してください。

※一度入力すると、それ以降は入力しなくても閲覧できるようになっています。

「国際ソロプチミスト」様

ありがとうございます

国際ソロプチミスト佐賀フレンズ（森聡子会長）様より寄贈がありました。認証25周年記念事業として、児童の健全育成を目的に実施されたそうで、森会長様は「女性や子どもたちを支援する団体として、子どものために有効に活用してほしい」と話されています。本校では、熱中症対策の備品として「ミストシャワー」をいただきました。早速、用務員さんが玄関ポーチに設置していただきました。本当に有り難うございました。



「いじめ」をなくすのは、自分です！

6月6日（金）の全校朝会は、リモートで実施しました。これまでは、全校が体育館に集合して校長からの話や生活の話を行ってきましたが、移動時間をカットするために変更しました。

この日の校長からの話のテーマは「いじめ」です。

まず、「いじめ」を「相手の心や体をきずつけること」として、「**子どもが、相手の心や体を攻撃することで、いじめられている子の心や体がきずついたり、くるしんだりすること**」です。インターネット上でのいじめも、ふくみます。」と定義しました。



文部科学省のいじめの定義は、以下の通りです。

「児童生徒に対して当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」

この定義からも、いじめた側が「自分はいじめていない。」と言っても、**相手が苦痛だと感じていたら、それは「いじめ」になる**ということです。「そんなつもりはなかった。」は通用しません。

また、子どもたちも、いじめが悪いことだということは知っているはずですが、なぜいじめが起こるのか？いじめと思われる事案が発生した時、相手の子どもに理由を尋ねると、「だって、〇〇さんが～したから。」と話すことがあります。理由があれば、人をいじめていいのでしょうか？このことについては、大人の中にも「いじめられる側にも、問題がある。」という認識を持つ方がいますが、それはいじめの定義からも明らかな間違いです。**どんな理由があっても、人をいじめていい訳ではありません。**

そして、いじめが起きた時に、周りで見ている人たちがどう行動するかがカギとなります。子どもたちには「**もし自分のクラスでいじめが起きていたら、周りの人たちはどうすればいいのでしょうか？**」と問いかけてみました。あえて答えは伝えませんでした。今後、クラスで話し合ってもらおうと思っています。



いじめは、いつ、どのクラスでも、起こりうるものです。大切なのはそれを見て見ぬふりをするのではなく、それに気付いた子どもたちが自ら行動していくことです。難しいことですが、自分たちが過ごすクラスや学校をより良くできるのも、いじめをなくすことができるのも、「自分」です。

いじめをなくして、みんなが安心して過ごせる轟小学校を、自分たちでつくっていきましょう！

学校における働き方改革 第1弾

マチコメールとプリントでお知らせをしていますが、校時表の見直しを行いました。

先日、「2026年度教員採用試験」の小学校の倍率が0.9倍と、初めて1倍を切ったと発表がありました。教員の長時間労働、講師不足などの問題も含めて、教職離れの傾向が顕著です。このままだと、これからの教育を担う人材の確保が難しく、学校における働き方改革は喫緊の課題です。

本校においても、これまでに様々な取り組みを行ってまいりましたが、今後も働き方改革の取り組みを加速させていく必要があり、今回の校時表見直しとなりました。

下校時刻の繰り上げなど、保護者の皆さまにも少なからず影響があると思いますが、今後の学校づくりを見据えた上での重要な改革の一つですので、保護者の皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

